



宇治市社会福祉協議会
(コラボネット宇治) キャンペーン

=支え合い、助け合い、励ましあって、つながる福祉=

社協だより

～コラボネット宇治～

2022
令和4年
9月15日

公式 twitter @uji_pyon

社会福祉法人 **宇治市社会福祉協議会**
(コラボネット宇治)

住所: 〒611-0021
京都府宇治市宇治琵琶 45 総合福祉会館内

発行人: 奥西隆三
TEL: 0774-22-5650 FAX: 0774-22-5654
URL: http://uji-shakyo.net Email: mail@uji-shakyo.net



小さなお子さんのいるお母さんの憩いの場を応援 (2ページ上)

「じぶんの町を良くするしくみ」、 赤い羽根共同募金へのご協力をお願いします。



退職後のお父さんのつながりづくりを応援 (2ページ下)



街かどで、ご家庭で、ご協力をお願いします

10月から、赤い羽根共同募金運動がはじまります。例年この時期になると、街頭では募金活動が展開され、募金をした証しとして「赤い羽根」がもらえます。最近アニメとのコラボでも有名で、こちらで「赤い羽根」に慣れ親しんでいる若い人も多いかと思えます。

赤い羽根共同募金運動は、10月1日から12月31日までの3ヶ月間、全国で行われる募金運動で、地域の福祉を支える活動を応援(助成)する財源となります。宇治市共同募金委員会では、宇治市社会福祉協議会(コラボネット宇治)と連携をとりながら、地域福祉・ボランティア活動を支えています。

赤い羽根共同募金は、宇治市内のたくさんの社会福祉施設や地域福祉活動の取組みに役立てられています。次のページでは、その中から二つのサロンの活動を紹介します。

インターネット募金

募金方法を選べるインターネット募金も受付しています!!
(社福)京都府共同募金会
<https://akaihane-kyoto.or.jp/publics/index/121/>



税制優遇の案内

共同募金へのご寄附は税制優遇の対象となります。

- ・個人の寄附…所得税(寄附金控除、税額控除)、住民税(寄附金控除)の対象
- ・法人(株式会社等)の寄附…法人税(全額損金算入)の対象

#宇治市共同募金委員会
@ujiakaihane

データベース「はねっと」にアクセス。
www.akaihane.or.jp/hanett/

共同募金の助成先の取組みを紹介します。

お母さん皆さんが抱えている思いに寄り添う。仕事をリタイアした男性たちのつながりをつくる。赤い羽根共同募金は自分とは関係のないものだと思っている人もいるかもしれませんが、私たちが住むこの地域をより良くすることに、どこかで、たしかに、つながっています。

つながるサロン

～小さな子どもをもつお母さんに、“ほっこり”できる時間を～

子育てに悩みはつきもの。最初はなにもかも初めての経験です。小さな子どもがいるお母さんには、いろいろな困りごとがあります。

そんなとき、必ずしも、話をきいてくれる人が周囲にいる人ばかりではありません。結婚を機に実家から離れ、馴染みのない土地に引っ越したお母さんは、慣れない環境に孤独を感じることがあります。最近では、「ワンオペ育児」という言葉も聞かれます。小さな子どもには手がかかるので、自分のための時間をもてないことも皆さんが抱えている悩みです。

そんなお母さんたちのために、“ほっこり”できる時間を提供したい。そうした思いから、いま活動を始めようとしているのが、「つながるサロン」です。

小さな子どもをもつお母さん同士で悩みを共有でき、育児の経験を先輩ママからきくこともできる。同じ経験をしているお母さんたちと一緒にいる時間は、まさに“ほっこり”できる時間でした。そんな時間をともに作りたい、そんな居心地のよい場をもっと広げていきたいという思いが、「つながるサロン」の基になっています。

コロナ禍であっても、子どもにとってはあっという間に時間が過ぎ、成長していきます。それは、お母さんにとっても同じです。子どもの成長をともに見守ってきた中で感じてきた思いを、気心の知れた仲間とともに、次の世代へもつないでいきたい。活動を始めるには、「いま」このタイミング。そんなお母さんの「いまの思い」を実現する助けとなったのが、赤い羽根共同募金でした。

ただいま、お母さんのためのヨガや子どもの手形足形アート、ベビーマッサージなどを企画中。スタッフがお子さんの面倒を見てくれるので、子ども連れでも安心して参加できます。9月から本格始動の予定です。



サロン巨椋^{おぐら}

～仕事をリタイアしたお父さんたちが、いまでは地域の顔なじみに～

「サロン巨椋」は、「つながるサロン」とは対照的に、男性が中心となって活動しているサロンです。小さな子どもがいるお母さんにはお母さんだからこその困りごとがあるように、仕事をリタイアしたお父さんにも特有の困りごとがあります。

会社に勤めていた間は、ご近所づきあいはお母さんにまかせきり。町内会など、地域の会合に参加したこともない。思えば、街角でみかける井戸端会議は決まってお母さんがしているイメージです。

これまでは仕事に打ち込んできたが、会社の外には知り合いが少ない。退職後、時間ができたお父さんにも、同じ思いをもつ仲間とのつながりが必要です。

そんな思いから、男性たちが集う、珍しいけれど貴重なサロン、「サロン巨椋」がつくられました。2012年のことです。体操や季節のレクリエーションなど、活動内容は様々ですが、数カ月の時間をかけて作品をつくる工作はお見事。その合間の休憩には、お茶を飲みながら楽しくおしゃべりして、近況を語らいます。

サロンに定期的に通うことで顔見知りになるといいます。サロンをはじめるまでご近所なのにお互いのことを知らなかったお父さんたちも、いまでは地域の顔なじみです。

そんなサロン活動をはじめてから、今年でちょうど10周年。これほどの期間、活動を続けてこられたのは、結成当初からサロン活動を手伝っている2人の女性の存在があるといえます。つかず離れず絶妙な距離感で、行き届いたサポートをしてくれています。「男だけでは無理だった」と、お父さんたちがまっ先に女性陣への感謝を述べる姿に、素敵な関係性が垣間見えるサロンでした。



京都府南部地域豪雨災害から10年

平成24年8月13日から14日の未明にかけての大雨と雷雨。8月15日から始まった、宇治市災害ボランティアセンターの「災害時体制」の取組みから10年です。

当会・宇治市災害ボランティアセンターでは、令和4年8月14日に当会や宇治市災害ボランティアセンターのホームページに、メッセージを出しました。



皆さまへ

10年前の今日、未明から断続的に続いた大雨と雷で眠れない夜明けを迎えたことを思い出します。そして、ニュースを見て、現場に出て、大きな不安と同時にとにかく「なんとかしなくては」と思い、動き始めたことを思い出します。

この京都府南部地域豪雨災害では、2名の尊い命が失われました。改めて、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。

多くの混乱の中で始まった、「災害時体制」での災害ボランティアセンターの運営では、多くのことに気づきました。

被災した人のことを思い、居ても立っても居られず駆けつけてくださるボランティアの人たち。日夜、災害ボランティアセンターの運営で裏方となって活躍してくださった住民さんやボランティアさんたち。

マニュアル片手に、これまでの訓練を思い出しながら一緒に運営を担ってくださった運営委員の皆さん。

寄附や支援物資、ボランティアの呼びかけ、そしてスタッフとしても応援をいただいた府内外の社会福祉協議会や関係団体の皆さん。

「暑い」夏でしたが、皆さんの「熱い」思いと「厚い」信頼を感じ、たくさんの勇気と希望を得た夏でもありました。

あれから10年の月日が流れました。

以降、京都府内外で大雨や台風による災害、地震等の被害もありました。

そして今もなお、その災害は続き、日々の暮らしを脅かしています。

10年前の気づきから、宇治市社会福祉協議会・宇治市災害ボランティアセンターは、災害時の活動はもとより、何も起こっていない今こそ「災害に強いまちづくり」の機運を高めていきたい、センターのことを知ってもらいたい、多くの団体とつながっていききたい、地域住民の皆さんと災害時にも生きる普段のつながりをより強固にしたいと考え、活動を続けています。

これからも、宇治市社会福祉協議会・宇治市災害ボランティアセンターへのご理解とご協力をお願いいたします。

2022（令和4）年8月14日

社会福祉法人宇治市社会福祉協議会
宇治市災害ボランティアセンター
代表 奥西 隆三

「ほっとけない」と「困ってるねん」をつなぐ

宇治ボランティア活動センターの新しい取組み「生活応援隊」

暑い夏が終わると、秋、冬と季節が変わっていきます。季節替わりは、衣替えをしたり、夏に使った扇風機などをしまっ、冬のお布団を出したり、暖房器具を出したりします。季節替わりは、意外と重いものを出し入れしたり、運んだりする時期でもあります。そういうことが、一人ではできにくいな、と感じることはありませんか。でも、そういうことを、だれに頼んだらいいのだろう。そんなことを思ったことはありませんか。

2022（令和4）年3月22日、宇治ボランティア活動センターで立ち上がった「生活応援隊」。

生活応援隊は、暮らしの中で感じる「困りごと」を、お互いさまのこととして支えあう社会実現を目指して、取組みを始めました。

活動を始めて5か月。現在24件（8月10日現在）のご依頼を受けていて、特に6月以降、地域の関係機関からの相談が増えています。チラシを配ったりした効果が出始めているようです。ご依頼される人は、お一人暮らしの高齢者や高齢者世帯。高齢者世帯では、夫婦のなかで介護が必要な人がいることもあります。ご依頼内容は、室内の清掃や家具の移動、室外の草刈り、病院の付き添いなど。ご依頼内容をお聞きし、サポーターと呼ばれるボランティアと調整します。この取組みは、基本は二人一組で、有料で行っています。サポーターは、現在約30名。専用の携帯電話にご依頼があれば、担当サポーターを決めて、依頼に応えられるようご依頼者と調整した後、作業は2人1組を基本とし有料で実施しています。個人又は家族ではできない困り事などがあれば一度連絡してみてください。サポーターからは、「『ありがとう』と言ってもらってうれしかった」や「喜ばれている様子がわかり、やってよかった」という声が上がっています。

今現在ご依頼を受けるためのサポーター数が不足しております。これから依頼数が増えることも予想されますので、もしこの活動に賛同されサポーター希望の方は是非私達と一緒に活動しませんか！作業後の「ありがとう」の一言と新しい仲間作りが待っています。私達は毎月第4日曜日13時30分から定例会を開催しておりますので一度見学に来てください。

また、質問やサポーター申し込み、見学参加等については、vorakatu28@yahoo.co.jp までご連絡ください。



緑のピブスを着て活動中

ご依頼

まずは、お気軽にご相談ください。
宇治ボランティア活動センター 10時～15時
070-7568-6997

（出られないときは、担当者から折り返します。）

支援活動内容

- (1)家事の手助け
 - ・大型物品の室内移動・庭の草取り・粗大ごみの搬出
 - ・部屋のかたづけ・簡単なボタン付け等
- (2)簡単な補修・修理や取り替え等
 - ・簡単な電気器具や棚等の取り付け・簡単な家庭内での営繕作業・簡単なパソコン設置やスマホの取扱い等

利用料

30分以内 500円
1時間以内700円
以降30分100円
※サポーター数により
変更有。

うじピョンの「地元に出かけよう」 (催しなどのご案内)

※予定が変更になる場合もありますので、事前のお問い合わせをおすすめします。
※各団体によって、電話等、不在の場合もありますのでご了承下さい。

シルバーウエルネス発表大会 (主催：宇治市老人福祉センターサークル協議会)
 内容：宇治市老人福祉センターサークル協議会は、60才以上の市民が各サークルの自主活動と緊密な連携を図り、広く社会福祉への貢献と学習活動の交流を深めることを目的としています。「シルバーウエルネス発表大会」では、日頃のサークル活動の成果を披露します。
 ※舞台 (民謡・謡曲・社交ダンス・詩吟・三味線・大正琴・カラオケ・合唱・ハーモニカ・ナツメロ)
 日時：9月30日(金) 午前10時半～午後3時
 場所：宇治市文化センター小ホール
 ※展示 (華道・書道・ちぎり絵・陶芸・茶道)
 日時：10月8日(土) 午後1時～午後4時 10月9日(日) 午前9時半～午後3時
 場所：宇治市総合福祉会館 3階
 その他：入場無料
 担当：宇治市社会福祉協議会 (0774-22-5650)

ジョイントコンサート (主催：宇治シルバー合唱団「炎」・女声コーラス「しあわせ」)
 内容：歌あり、ダンスあり、お芝居ありの楽しい演奏会を3年振りに開催いたします。ゲストには声楽家・アコーディオン奏者を迎えて皆様に満足して頂ける舞台になるよう励んでおります。また、感染対策も整えておりますので、どうぞお誘い合わせの上、お越しください。
 日時：10月10日(月) 午後1時半～(開場12時45分)
 場所：宇治市文化センター大ホール
 その他：入場無料
 担当：「炎」事務局 (090-8230-2567)

第7回榎福まつり (主催：榎島学区福祉委員会)
 内容：榎島学区福祉委員会設立30周年記念イベント。地域住民と委員、地域で活動の諸団体との交流を図り、まつりを作ります。コロナ禍の中距離を維持しながらの交流を考えています。
 日時：11月13日(日) 午前10時～12時
 場所：榎島小学校
 申込：当日会場に来てください。
 その他：現在榎島地域で活動している団体の協賛をお願いしています。物的、人的ご支援をして頂ける、サークル、団体がありましたらご一報ください。

おしゃべりサロン (主催：西大久保学区福祉委員会)
 内容：高齢者と限定しないで気軽な近所付き合いや交流をして、地域の見守り支援をしていく。軽い体操や、お話し、簡単なゲームなどを通して、体を動かしたり、情報交流などを行っています。
 日時：11月17日(木) 午後1時半～3時頃まで
 場所：西大久保集会所(みずほ地域) 旦棕公会堂(大久保地域)
 申込：予約不要、参加費無料
 その他：緑ヶ原地域は「熟年の集い」開催。詳細は当福祉委員会へ。

2022年度 音訳ボランティア養成講座(初級) (主催：宇治リーディングボランティア)
 内容：音訳ボランティアに興味のある人で、講座修了後にボランティアとして活動できる人を対象に、視覚障がい者への理解、音訳ボランティア活動を行う上で必要な心構え、発声・発音・アクセントの基礎を学ぶ。
 講師：中野とも子さん(フリーアナウンサー・音訳指導者)、ほか
 日時：11月1日～12月20日の毎週火曜日/全8回 午後1時半～3時半
 場所：宇治市総合福祉会館
 申込：9月26日(月)まで必着で、ハガキ(611-0021 宇治市宇治琵琶45 宇治市総合福祉会館内)またはメール(ujiurv@gmail.com)に「音訳ボランティア養成講座(初級)受講希望」、住所、氏名、電話番号、E-mail(あれば)を書いて、お申込みください(電話での申込みはできません)。定員15名(定員を超えた場合は抽選)。締め切り後1週間をめどに、申込者全員に受講の可否をお知らせします。
 その他：受講料無料

おもちゃの無料修理 (主催：宇治おもちゃ病院)
 内容：動かなくなったらすぐゴミ箱行き。親も子もモノを大切にできる心、何で動かんの?という疑問の心や好奇心を持ってほしい。壊れたおもちゃを直すことに情熱を注ぎ、子ども達に科学する心、物を大切にできる心、ひいては人を大切にできる心を育てることを目的にした病院です。
 日時：毎月第3日曜日 午後1時～4時 場所：宇治市総合福祉会館
 申込：予約不要。開催日に直接持参
 その他：修理費無料(但し部品交換の場合は実費が必要) 4時直前は預かりになります。1時過ぎに持参してください。

体験入学実施します (主催：遊びの学校)
 内容：9月 ナイトハイキング/10月 芋掘り/11月 サバイバルハイキング
 日時：毎月第3日曜日
 場所：野外遊びに付き毎月変わります
 申込：電話(090-5886-6701) かメール(07aoki.ang@gmail.com)でお問い合わせください。
 担当：青木 その他：活動内容によって金額が変わります。

介護家族「ほのぼのタイム」 (主催：宇治市介護者(家族)の会)
 内容：大切な方を介護されているみなさんの交流会。語り、支え合い、学べる交流会です。気分転換も大切です。
 日時：10月7日(金) 午後1時半～午後3時 12月2日(金) 午後1時半～午後3時
 場所：宇治市総合福祉会館 申込：予約なし。入退出自由。 その他：参加費無料

目の健康教室 (主催：京都府視覚障害者協会)
 内容：畑中宏樹先生による「目の健康」についての講演と音楽グループ満月堂による音楽演奏
 日時：11月20日(日) 午後1時半～午後4時(午後1時受付)
 場所：宇治市総合福祉会館3階 その他：参加費無料
 担当：今里 (0774-22-3200)

いけばな療法セミナー (主催：宇治中途失聴・難聴者協会)
 内容：「いけばな」を通じて認知症に対する予防や、認知症ケアに役立てる方法を楽しく体験していただきます。
 日時：12月18日(日) 午後1時半～午後3時半
 場所：宇治市総合福祉会館3階
 申込：11月20日(日)から電話(24-5071)またはFAX(22-3987)をお願いいたします。
 担当：石井 その他：参加費1,000円 11月20日(日)より受付開始(先着20名様くらいまで)

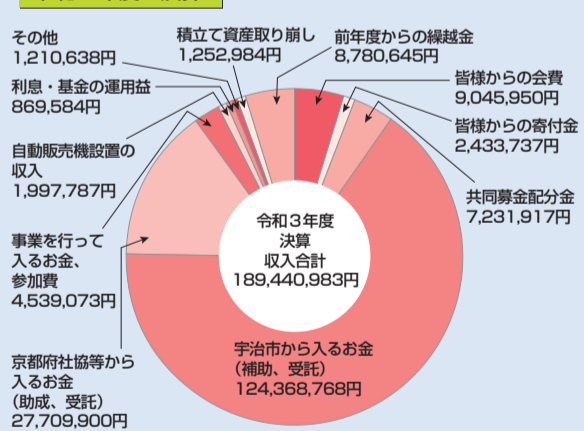
丘の上のんびり子ども食堂 (主催：kinarico)
 内容：子ども食堂は人の繋がりがから生まれる大切な何かが見つかる場所。温かな食事を通して笑顔の輪を広げたいという想いで活動しています。誰でも参加して頂けます。
 日時：月1回 場所：日本キリスト教団宇治教会附属愛児園ホール(宇治山本)
 申込：Instagram(@kinarico_uji) DMより申込み
 その他：参加費、高校生まで無料・大人300円
 担当：伏見 ※宇治教会附属愛児園への問い合わせはご遠慮ください。

未来教室 (主催：NPO法人 こころのはな)
 内容：近年、地域単位での縦横の繋がりが希薄化しており、地域住民からの伝統文化の継承や教育の機会減少にある。こうした中、斜めの関係である大学生が関わることで伝統文化の継承や地域の繋がりの手助けになるのではないだろうか。その文化の継承や地域の繋がりの手助けを当NPOで開催することで、学びの機会の提供を図る。教育に関わる体験型知育ゲーム、日本の食文化に関する体験授業、食文化の体験授業などを開催。
 日時：9月3日(土) 9月11日(日) 9月18日(日)
 場所：心華寺(京都府宇治市神明石塚66) 申込：momoduffy1008@gmail.com
 担当：河野 その他：参加費 200円

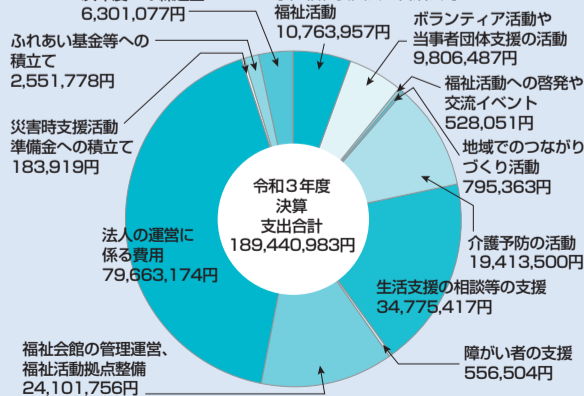
当会からのご報告

※市民のみなさまにご理解いただきやすくするために、どのような事業に支出をしたのかを表しています。法令による計算書類は、当会ホームページをご覧ください。
<http://uji-shakyo.net/> [コロナネット宇治](#) [検索](#)

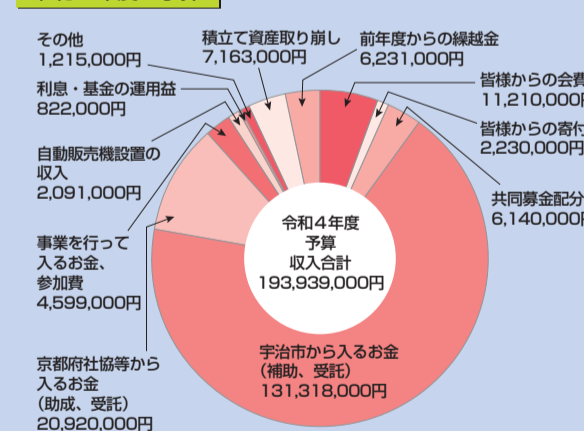
令和3年度 決算



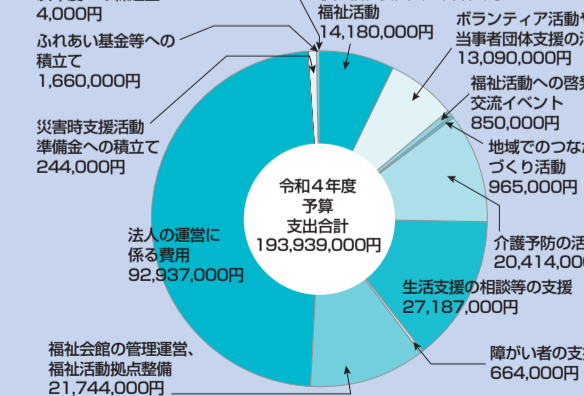
令和3年度 決算 支出合計 189,440,983円



令和4年度 予算



令和4年度 予算 支出合計 193,939,000円



【寄附のお礼】

皆様から地域福祉活動を支えるあたたいご支援をいただき、誠にありがとうございました。令和4年4月から7月末までにご寄附いただいた事業所、施設、団体名を掲載しています。(匿名希望の法人等及び個人はまとめて掲載しています。)

- 寄附金
 [350,000円] 鳳凰流あじろ木会
 [103,155円] 宇治鳳凰大学同窓会
 [65,601円] コンタクトパーソン「結」
 [42,810円] (社福)京都徳仁福祉会
 京都認知症総合センター
 [匿名・個人] 6件 188,173円

- 寄附物品
 [匿名・個人] 2件
 マスク50枚×3箱、
 シャワーキャリー1台

【お詫び】
 2022年6月15日号の社協だよりに掲載した、令和3年度の会員ご協力のお名前の一部誤りがございました。心よりお詫び申し上げます。訂正いたします。
 団体会費 (未掲載) サポートセンターさんと雲 5,000円